

編集後記

ここに『北の丸』第四十五号をお送り致します。所収する論考の概略は以下のとおりです。

「書物方年代記④」は、徳川將軍家の蔵書（いわゆる紅葉山文庫）を管理する書物方の業務日誌をまとめたもので、第四十二号から引き続き発表しています。

「当館所蔵の「絵入り本」解題①」は、貴重な古写本の陰に隠れて手つかずの状態となっていた「絵入り本」（本文に挿絵や図版などが添えられた書籍）について、書誌情報や内容などを解説したものです。

「当館所蔵漢籍の「宋版」及び「元版」の解題③」は、当館が所蔵する漢籍の解説で、第四十三号から発表しています。

「内閣法制局移管文章について」は、当館で実施している「公文書館専門職員養成課程」の修了論文に加筆修正を加えたもので、内閣法制局から移管された「法令案審議録」を含む移管文書について、同局の機能及び文書管理等を踏まえて分析し、その構造及び特色を考察しています。

「紙媒体記録等の保管環境に関する標準化動向」は、「伝統的」な紙などの物理的媒体による記録の管理や保存について、デジタルの分野で行っているような標準やガイドを策定しているオーストラリア、ニュージーランド及びイギリスの国立公文書館の取組を紹介したものです。

当館では、来館が難しい方々にも当館の資料が利用できるよう、デジタルアーカイブの充実を図っています。ホームページを是非ご覧下さい。

ホームページのアドレス：<http://www.archives.go.jp/>

（土屋）

春の展示会のご案内

平成二十五年春の特別展

「近代国家日本の登場 ― 公文書にみる明治 ―」

平成二十五年春の特別展は、国立公文書館、宮内公文書館、外交史料館が連携して特別展を開催します。各館の所蔵する明治時代の公文書や絵巻物等を国立公文書館に集め、明治維新を経て日本が近代国家として歩み出し、次第に躍動していく姿をご紹介します。

会場 国立公文書館一階展示場

会期 平成25年3月30日（土）～4月18日（木）

時間 月～水・土・日曜日 午前9時45分～午後5時30分

木～金曜日 午前9時45分～午後8時

（入館は、閉館の30分前まで）

主催 国立公文書館、宮内公文書館、外交史料館

協力 日本銀行金融研究所アーカイブ

主な展示資料

「大日本帝国憲法」（国立公文書館所蔵）

「御即位式絵図」（宮内公文書館所蔵）

「日露講和条約」（外交史料館所蔵）など